

下鶴間 諏訪神社 大和市下鶴間 2540 番地

御祭神 建御名方神（たけみなかたのかみ）

鎌倉時代中期のころ諏訪社として祀られたものと考えられ、延宝8年（1680年）再建の棟札があったと云うことから、徳川氏入国当時既に厳然と鎮座していたのは明らかである。宝永8年（1710年）6月再建、安永7年（1778年）再建の棟札は現存している。

さらに安政5年（1858年）11月6日完成間近の社殿を大工の失火より悉く焼失してしまった。その後、氏子の熱意により明治5年7月に三ヵ年の歳月と、多大な資材、労力をかけて完成した社殿と伝えられているが、近隣の神社中でも比類のないものと云われている立派な彫刻にその年月の大半がかけられたものと思われる（境内説明版、同神社パンフ）。



朱塗りの大鳥居が目立つ



歴史を感じる狛犬



摂末社 古峯神社、秋葉神社



摂末社 八坂神社



摂末社 稲荷神社



樹齢200年予のご神木



本殿



奥宮

宝登山神社を思わせる数々の彫刻が施されていた

